

Hagi Museum

Hagi Museum

Exhibition Guide

萩博物館

2009.4—2010.4

4.18^{SAT}—6.21^{SUN}

至誠の人 吉田松陰

7.4^{SAT}—8.31^{MON}

マンタの海流大冒険

～まぼろしの海神王国をめざして～

9.12^{SAT}—11.18^{WED}

没後100年記念

伊藤博文とその時代

11.28^{SAT}—2010.1.28^{THU}

～タイムスリップ～

城下町 萩のひみつ

2.6^{SAT}—4.7^{WED}

初公開！萩博物館の「宝」



Hagi Hakubutsukan

萩博物館

〒758-0057 山口県萩市大字堀内355番地
TEL:0838-25-6447 FAX:0838-25-3142
URL: <http://www.city.hagi.lg.jp/hagihaku/>
E-mail: muse@city.hagi.lg.jp



姉妹館・須佐歴史民俗資料館常設展
永代家老益田家の秘宝



萩博物館のご案内

HAGI MUSEUM INFORMATION

2009—2010

至誠の人 吉田松陰

4月18日(土)→6月21日(日)

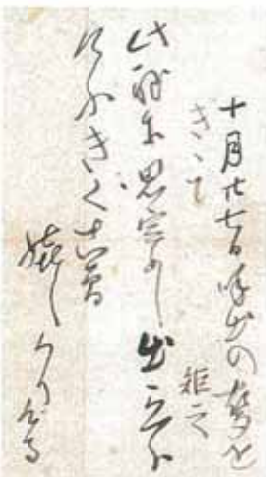
「松陰先生」の呼び名で多くの人々から尊敬されている、吉田松陰。この偉大な人物が江戸で処刑されてから、150年という年月が経過した。松陰はこれまでに、「明治維新の先覚者」「理想の教育者」などさまざまに評価されてきたが、現在もなお人々を魅了し続けるのはなぜだろうか。29年2ヵ月という短い生涯を、「至誠」で貫き通した「人間松陰」の魅力に迫る。

ギャラリートーク/13:30~約1時間
4月18日(土)・5月2日(土)・5月16日(土)
5月23日(土)・6月6日(土)・6月20日(土)



吉田松陰自賛肖像 (山口県立美術館)

至誠不動兮自古未之有



絶筆 (山口県立美術館)



マンタの海流大冒険

~まぼろしの海神王国をめざして~

2009年7月4日(土)→8月31日(月)

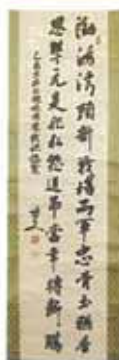
黒潮—それはフィリピン沖で生まれ、日本をめがけて北上する世界最強の海流。その流れの中には、奇想天外な魚や貝たちのどんなドラマがくり広げられているのだろうか？そして、流れの行く手にあるという「まぼろしの海神王国」とはいつこに？いざ、巨大エイ「マンタ」とともに、黒潮を縦断して解き明かそう！ジンベエザメの複製など魚や貝の標本1500種・3000点。萩そして山口県の自然の未来を見る目が変わる、物語風の展覧会。



~タイムスリップ~ 城下町 萩のひみつ

11月28日(土)→2010年1月28日(木)

萩の「まち」では、江戸時代の城下町絵図を現在もそのまま地図として用いることができる。それは、江戸時代に築かれた城下町の道路や屋敷地が、ほとんど変わることなく受け継がれていることを意味する。なぜ城下町のさまざまな要素が今に息づいているのか、そのひみつを明らかにし、萩を再発見する。初公開資料多数。



没後100年記念 伊藤博文とその時代

9月12日(土)→11月18日(木)

日本は、アジアで最初の近代的な立憲制国家を建設した。その過程で、憲法制定や国会開設などに尽くした初代総理大臣伊藤博文の功績は大きい。日本の近代国家建設をめざした伊藤博文の軌跡をたどる。



初公開! 萩博物館の「宝」

2月6日(土)→4月7日(木)

歴史・民俗・自然などさまざまな分野に及ぶ収蔵品の中から、「萩の宝」となる逸品を選び、特別公開する。

歴史展示室

萩開府から明治維新にいたる長州藩260年のあゆみを、数々の実物資料や模型、映像などを駆使して紹介。



萩城模型

いきもの発見ギャラリー



ダイオウイカ 標本 (長さ3m)

常設展示としては全国3箇所で見られない巨大イカ・ダイオウイカをはじめ、萩の海と大地にすむ魚・鳥・貝・虫などさまざまな生物の魅力を標本やジオラマで紹介。

高杉晋作資料室

萩を代表する維新のヒーロー高杉晋作にスポットを当てた展示室。ご子孫から寄託された史料を中心に、晋作の短くも激しい生涯を紹介。



少年期の福古制

天体観測室

瓦屋根を稼働させて空を観測する、世界初の仕掛けの天体観測室。萩の美しい夜空だけでなく、昼間の太陽も観測できる。

- 公開日 水曜～金曜 第2、4土・日曜 13:00～16:30
 - 星の会 毎週金曜日 19:30～21:00
- ※臨時にお休みすることがあります。



—— 姉妹館のご案内 ——

須佐を治めた萩藩永代家老益田氏所用の甲冑などを展示するとともに、益田氏の郷校育英館、幕末期四境戦争で活躍した須佐回天軍、益田氏の御用船として江戸時代の初めに開かれた須佐唐津焼などを紹介。

須佐歴史民俗資料館



開館時間 9:00～16:30
休館日 月曜日・祝日の翌日・年末年始(12月29日～1月3日)
入館料 大人300円(200円) 小人150円(100円)
()内は20名以上の団体料金

〒758-3411 萩市須佐4441-19
TEL 08387-6-3916 FAX 08387-6-2030



開館時間 9時～17時 ※入館は16時30分まで
休館日 なし 但し9月4日(金)は臨時休館
駐車場 普通車66台 バス8台
2009年4月1日より
普通車1回300円 大型車1回1,000円
※市民は無料
観覧料 大人500円 高・大学生300円
小・中学生100円
[団体割引] 20名以上20%
[障害者割引] 20%
年間パスポート 大人1,500円 高・大学生900円
小・中学生300円

- JR東萩駅より タクシー10分、徒歩25分
- JR新山口駅よりバス70分 (萩バスセンター下車、徒歩25分)
- 萩・石見空港よりバス75分 (萩バスセンター下車、徒歩25分)
- 萩バスセンターより まるバス西回り10分 「萩博物館前」下車
- 中国自動車道 小国IC、美祿ICより50分
- 山陽自動車道 防府東ICより60分